

## 2018年度（平成30年度）自己評価

本校は、学校教育法および同施行規則に則り学校評価制度を制定し、文部科学省が定める「専修学校における学校評価ガイドライン」に沿って「学校評価」を実施しております。「学校評価」を実施するに当たり、最初のステップとして基礎的な資料を得るために毎年2月に生徒及び保護者へのアンケート調査を行っています。アンケート結果を踏まえて自己評価を実施しています。自己評価につきましては、学校評価委員会で議論し、教育活動の一層の向上につなげるよう努力しております。

前年度[2017年4月～2018年3月]の学校運営・教育活動等について教職員による自己評価を下記に公表致します。

関西外語専門学校 国際高等課程  
学校長 花畑 好一

### 1. 本校の教育目標、教育方針

「生きた英語力」を身につけて国際舞台で活躍できる「真の国際人」を育成することが本校の教育目標です。このためには、グローバル化社会の中で、幅広い教養と自分の考えをもって主体的に生きることができるよう教育を施しています。なお、この教育方針の背後には、生徒を1人の人間として大切に育むという、法人全体の教育理念「血の通った教育の場」が脈々と流れています。

具体的な教育方針は次の通りです。

- 1) 「生きた英語力」を研ぐため、授業の中でできるだけ多く英語を使用する。
- 2) 国際力を研ぎグローバル社会に通用するよう育むため、日本人教員に加え、諸外国の教員による授業を実施することで、国際理解を深め、多様な考え方や価値観に触れさせて、多様性を受容する広くて柔軟な心を育む。
- 3) 少人数授業を大切にし、ディスカッションやプレゼンテーションなどの参加型教育（アクティブ・ラーニング）を授業に取り入れ、自ら学ぶ姿勢、自分で考え発信する能力及びコミュニケーション力を育成する。
- 4) 将来進路に備えるための基本的な学力・教養教育を大切にする。
- 5) 個性と自由を尊重すると同時に、グループ・集団で活動できるよう規律、協調、コミュニケーションを大切にし、互いに認め合い協力する姿勢を涵養する。

### 2. 2017年度（平成29年度）の重点的な取組事項

- 1) 6レベルによる習熟度別クラス、少人数クラスを堅持

生徒数が20名程度減少したが、英語レベルについては、昨年度に引き続き6レベル展開で授業（計8クラス）を行った。また、学年クラス・英語クラスとも少人数制を堅持した。

## 2) 3年生の多様な進路に対応する受験指導

3年生45名の希望進路に対応し、集中科目を開講するとともに、大学・短大・専門学校のアオ入試・グローバル入試、推薦入試（指定校・公募制）、一般入試の受験指導に加え、海外留学、就職など多様な希望進路に対応し受験指導を行った。

## 3) 学年間交流・生徒会活動の促進

本校の伝統であるアットホームな校風及び学年間交流を促すため、引き続き生徒会活動を支援した。一例として、ハロウィーン・フェスティバルを生徒会が主体的に活動できるように指導した。

## 4) 模擬国連への取り組み

英語教育に加え国際教育を推進することで、本校の教育目標（「真の国際人」の育成）を実現するため、英語で国際問題を議論し問題解決を図る模擬国連大会で活躍できる教育を施している。大会参加のための準備や技能習得は通常授業及び個別で指導した。3年生の20名が選抜参加する京都大会に加えて、3年生全員が参加する模擬国連大阪も3年目を迎え、他校の協力も得て軌道に乗せることができた。

## 5) 研修旅行・ホームステイ

1・3年生はベトナム研修旅行、2年生はオーストラリアでのホームステイを実施し、貴重な海外経験を積むことができた。

### 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

#### (1) 教育理念・目標など

	評価項目	評価
教育理念 目標など	教育理念が定められているか	4
	教育目標が明確にされているか	4
	教育目標は社会のニーズに適しているか	4
	教育目標や方針は生徒・保護者・社会に周知されているか	4
	教育方針は教育目標を実現する適切なものとなっているか	4
	社会のニーズを踏まえた将来構想が描けているか	4

【評価 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切】

#### コメント・課題・改善事項

昨年、「アメリカ第一主義」を掲げたトランプ氏の大統領就任以来、トランプ米大統領は自国の経済的利益を優先し保護主義的な貿易政策を推進するばかりか、地球温暖化対策の国際的枠組み「パリ協定」離脱を表明するなど反国際協調・反グローバル化施策を矢継ぎ早に打ち出している。しかし、これは見方を変えれば、加速するグローバル化への対抗措置であり、国際社会に波紋を投げかけてはいるが、一時的なものと考えられ、グローバル化の勢いをとどめることはできないと予測される。勢いを増す経済・金融・社会のグローバル化の中で英語の必要性はますます高くなっており、世界共通語として位置付けられている。

時代に対応するため文部科学省も高校の英語教育改善に取り組んでおり、一部の学校で実践的英語教育が施されるようになってきた。しかしながら、ほとんどの高校では今もなお「大学受験英語対応指導」から脱却できていないのが実情である。

本校は専修学校高等課程という強みを活かして、カリキュラムを柔軟に編成し、思い切った「生きた英語」教育、国際教育を実施している。本校の教育方針及び教育は、時代の先端を行くものと評価できると考える。

本校の課題としては、学内のグローバル化がある。海外留学経験のある教職員が多く、また10名程度の外国人教員が教育活動に従事しており、この点ではグローバル化・多国籍化が進んでいる。一方、帰国生・外国籍の生徒割合が一般的な高校に比べるとかなり多いと言えども、生徒の8割程度が一般的な日本人となっている。学内のグローバル化を更に推進するためには堪能な英語力を活かしつつ日本語習得を目指す外国人生徒用コース（仮称：日本語指導コース）開設が今後の課題となっている。

## (2) 学校運営

	評 価 項 目	評価
学校運営	教育目標に沿った運営方針が策定されているか	4
	事業計画・中期計画に沿った運営が実施されているか	4
	適正な教育活動を実施するため、職員会議は定期的に実施されているか、また、有効に機能しているか	4
	人事・財務などの意志決定組織は整備されているか	4
	地域社会等へのコンプライアンス体制が整備されているか	4
	教育活動に関する情報公開は適切になされているか	4
	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

【評価 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切】

### コメント・課題・改善事項

日本社会のグローバル化の進行、「生きた英語」の必要性に対応する形で、運営方針・事業計画・中期計画は教育目標に沿って策定している。

職員会議は原則、週1回実施しており、教職員が適切に学校運営や教育活動に携わることができるように情報の共有化を図り、諸事項を調整の上、意思決定している。

諸規程については法人全体に関わる規定は法人本部及び総務部が管轄管理し、本校教育にかかわる規程については本校で案を策定し、理事会等の上部機関の承認を経て決定されている。規程策定においても日常の学校運営においてもコンプライアンスには常に留意している。

情報公開については、ホームページ、学校案内・募集要項などの印刷物において適宜行っている。

なお、生徒増・クラス数増に対応する情報システム化、事務の効率化は順次進めている。iPad 端末による出席管理システムは2015年度当初より導入し、生徒数・クラス数増に対応した。導入3年目となり、多少の不具合が発生したが、基本的には順調に運用している。今後とも、システム化・効率化は推進して行く。

## (3) 教育活動

	評 価 項 目	評価
教育活動	教育目標に沿ってカリキュラムが編成されているか	4
	専修学校設置基準や教育目標に沿った授業時数や学習時間が確保されているか	4
	カリキュラムは体系的に編成されているか	4
	カリキュラムは時代の変化や現実社会の必要に対応しているか	4

授業計画及び内容は、現実社会との関連したものとなっているか	4
少人数授業は堅持されているか	4
授業の多くは、参加型授業（アクティブ・ラーニング）となっているか	4
「生きた英語」教育は施されているか	4
国際教育は施されているか	4
模擬国連の指導は実施されているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
海外研修・ホームステイなどの国際交流プログラムは計画・実施されているか	4
情報教育は実施されているか	3
衛生・保健教育は実施されているか	3

【評価 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切】

#### コメント・課題・改善事項

カリキュラム編成は、本校教育の最重要事項のひとつとして、検討・改善を重ねている。「生きた英語」教育、国際教育は、各教科の基本事項を押さえつつ、現実社会で起こっている事象を取り上げて授業を展開している。

授業方法も、教員が一方向的に知識を教える従来の高校における教授法（講義型授業）でなく、生徒が自ら考え発信する授業を重んじている。少人数制の参加型授業（アクティブ・ラーニング）でディスカッションやプレゼンテーションを多用しているため、生徒アンケートで「授業が楽しい。」と答える生徒が多く、9割近くの生徒が「世界のことや国際的なことをこの1年でたくさん学んだ。」と回答している。また、8割近くの生徒が「授業は自分にとって有意義で、多くのことを学んでいる。」「授業のおかげで、この社会やいろいろなことに関心を抱くようになった。」と答えている。

なお、教育効果を高めるためホームルームクラスをベースに、習熟度別クラス編成による英語授業、選択制集中授業を実施している。なお、その背後では膨大な出席・成績に関わる事務が発生していることも付記しておきたい。

模擬国連においても、生徒たちの活躍が目立っている。これは教員の指導を土台として生徒が積極的に取り組んでいる結果であると考え。関西高校模擬国連大会（京都大会）に3年生選抜20名が参加したほか、3年生全員が参加する第3回模擬国連大阪（大阪大会）を本校主催で実施した。大阪大会では本校生徒が議長・秘書・ブロックリーダーを務め、会議をリードし、「持続可能な開発による格差是正」という議題について議論した。なお、大阪大会には関西圏11校、約200名の生徒が参加した。

ベトナム研修旅行では、戦争戦跡博物館・クチトンネル訪問、枯葉剤の影響で結合双生児として生まれたドクさんの講演会によりベトナム戦争の悲惨な状況を直接見聞きし平和学習に資した。また、ホーチミン市内のレホンフォン高校を訪問し、学校としての交流、生徒個人としての交流、そして班毎の市内観光による国際交流を行った。この交流の際、英語を使用できたことも貴重な体験となった。また、発展途上にあるベトナムの活力や生活、独自の文化や食事、ジャングルクルーズなども体験ができ、意義のある研修旅行となった。

オーストラリア・ホームステイは昨年引き続き2年生を対象に実施した。数年前までは1年生を対象に実施していたが、2年次の方が英語力、国際力、主体性や活動力が向上しており、比較的円滑に実施することができた。

なお、情報教育は入学時に集中授業形式で実施し、保健・衛生教育については、1・2年生を対象に専門の先生を外部より招いて実施した。

## (4) 生徒指導・進路指導

生徒指導 進路指導	評 価 項 目	評価
	基本的な生活習慣の確立のための取組が行われているか	4
	基本的な学習姿勢の確立のための取組が行われているか	4
	生徒・保護者からの相談体制は整備されているか	4
	いじめ防止対策が施されているか	4
	学校の秩序を維持するための取組が行われているか	4
	進路説明会や進路のための情報提供は行われているか	4
	大学受験模試は実施されているか	4
	進路のための生徒面談は行われているか	4
	進路のための三者面談は行われているか	4
	受験対策指導は行われているか	4

【評価 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切】

## コメント・課題・改善事項

一昨年1限の授業開始前に導入した「朝礼」によって、担任が朝一番で生徒の登校状況を把握し、当日の連絡事項を伝えるようにした。「朝礼」を導入したことで今まで以上にクラス運営がしやすくなったと評価している。授業は1日7時間授業(9:10～16:10)を実施しており、一定量の宿題が常に課され、予習復習を基本とする教育を施しており、ほとんどの生徒が基本的な生活習慣・学習習慣を確立していると評価している。但し、思春期の特徴でもあるが、中にはサポートや指導を必要とする生徒もあり、クラス担任を中心に対応している。状況によっては保護者の協力を得ながら校内常駐の臨床心理士によるカウンセリングも実施している。なお、個別ケースに幅広く対応できるよう教職員も経験を積んでいる。今後とも研鑽していきたい。いじめ防止対策については少人数クラスの特性を活かし教職員が生徒の様子に目を配り、早期発見・早期対策に努めている。

進路指導は、少人数教育の特徴を活かして、生徒個人の方向性に対応するため、生徒面談、三者面談など1人当たりの生徒に相当の時間をかけて指導している。進路に関する情報提供においては、毎年、大学の教職員を招いて分野別説明会を実施するとともに、ホームルーム等を利用して将来進路について考える取り組みを行っている。なお、春休みや夏休みには大学・専門学校等のオープンキャンパスに積極的に参加するよう指導している。また、天王寺という地の利を活かし、授業終了後に近隣施設で実施される進学イベント参加も促している。大学・専門学校などに赴いて自分の目で実際の校舎やキャンパスを確認することは極めて重要であり、更に指導を強化していきたい。

## (5) 特別活動等

特別活動 等	評 価 項 目	評価
	新入生歓迎プログラムがあるか	4
	生徒交流活動が実施されているか	4
	伝統文化活動は実施されているか	4
	スポーツデーなどの課外活動は実施されているか	4
	防災教育・訓練は実施されているか	4
	学外での国際交流は実施されているか	4

	生徒会は機能しているか	4
	卒業生を祝福するイベントは実施されているか	4

【評価 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切】

#### コメント・課題・改善事項

アットホームな校風を維持し、学年を超えた生徒間交流を促進する努力は課外活動を中心に行っている。新入生歓迎プログラムとしては、入学式後に新入生歓迎会を実施した。また、学年を超えた交流のために5月2日に生徒会の企画・運営により「ボーリング&スポーツ交流」を実施した。

国際人とは、世界のことを知るばかりでなく、自国（日本）を知り「自国（日本）を語れる人」である。このため、伝統文化活動は毎年実施し、日本の伝統文化を体験させている。2017年度は6月16日に天満天神繁昌亭で落語鑑賞を実施した。また、生徒間交流、協調・協力マインドや主体性及び活動力を育むため、10月末には生徒会が主催し天王寺区民センターでハロウィーン・パーティーを実施した。このイベントは生徒たちが自ら積極的に企画・実行した。生徒会役員が中心になって全校生徒を巻き込みながら主体的に活動したことを評価している。

なお、一部の生徒については大阪グローバル塾による短期留学で活躍し国際力を育むことができたことは評価している。多くの高校生の中で本校生徒がリーダーシップを発揮していると大阪グローバル塾より評価が届いていることを申し添えたい。

#### (6) 学修成果

	評 価 項 目	評価
学修成果	英検の合格状況はどうか	4
	TOEIC スコアはどうか	4
	漢検の合格状況はどうか	3
	英語偏差値は伸びているか	4
	大学等への進学状況は希望に合致しているか	4

【評価 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切】

#### コメント・課題・改善事項

過去7年間の卒業生の実績詳細は学校案内に記載している。英検では85%の卒業生が2級・準1級・1級に合格している（準1級・1級では21%）。2017年度単年度の実績としては、準1級に9名（3年5名、2年4名）、2級には27名（3年9名、2年12名、1年6名）、準2級には24名（2年生1名、1年生23名）が合格した。漢検では、帰国生も多いため生徒の希望する級を受けることができるよう配慮している。2級に2名、準2級に5名、3級に8名合格し、下位級にも8名が合格した。

TOEICでは卒業時に67%が500点以上のスコア、600点以上は43%、700点以上は27%となっており、高校生としては非常に優れた成績を修めていると評価している。英検で2級に合格してもTOEICでは400点台にとどまっている生徒もあり、TOEICスコアが伸びるよう更に努力していきたい。なお、進路についてはほぼすべての生徒が希望進路を実現できた。

#### (7) 生徒支援・学費・奨学金

	評 価 項 目	評価
生徒支援	就学支援金の紹介や受給手続きはできているか	4
	大阪府授業料支援補助金の紹介や受給手続きはできているか	4
	大阪府育英会の紹介や受給手続きはできているか	4

	日本学生支援機構・事前奨学金の紹介や受給手続きはできているか	4
	その他の奨学金等の紹介や受給支援はできているか	4
	保護者との連携はできているか	4
	担任教員等による生徒支援はできているか	4
	臨床心理士による生徒支援はできているか	4
	卒業生への支援体制はあるか	4

【評価 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切】

コメント・課題・改善事項

就学支援金、大阪府授業料支援補助金は本校ホームページ上の「関係者専用ページ」でも随時案内（更新）している。また、学校でもオリエンテーション段階より説明する機会を設け、受給手続きについても適格に実施していると評価している。なお、所得など条件により受給金額が異なる複雑な制度であるため、プロジェクターを使って視覚でもわかるように説明しており、保護者からの問い合わせにも大阪府に相談しながら的確に対応している。保護者との連携についてはPTSA総会（年4回実施）を実施し、担任教員を囲んでの食事会や授業参観、分野別進路説明会など教育活動を保護者に理解していただける機会を設けている。また、必要に応じて担任教員より保護者に連絡し、保護者の協力を得つつ指導できるよう努めている。高校生活を支援するため臨床心理士による面談を全校生徒対象に実施した。なお、卒業生支援については、大学編入のための受験支援や留学支援などを行っている。実際、特に用事がある訳でもないが、卒業生がしばしば本校を訪れて頑張っている姿を見せてくれている。なお、校友会・同窓会組織の立ち上げが課題となっている。

(8) 教育環境

	評 価 項 目	評価
教育環境	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
	防犯・防災に対する体制は整備されているか	4

【評価 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切】

コメント・課題・改善事項

施設・設備について、2014年後期より別館（全面的に耐震補強及び内装外装を施し新築に近い仕様の校舎）を使用しており、少人数授業に適した教室数を十分確保でき、学年単位で授業や諸活動ができる大教室も確保している。各階に防犯カメラを設置しており、校舎入口に受付を設けて外部侵入を防いでいる。守衛が校舎を巡回することで生徒の安全管理に努めている。安易なネット使用による危険に備えるため、夏休み前には阿倍野警察の協力を得て青少年担当警官による防犯講習を実施した。万が一の場合に備えて避難訓練・防災訓練は毎年実施しており、2017年度は避難訓練を実施した。

(9) 生徒の受入れ募集

	評 価 項 目	評価
生徒受入 募 集	中学校等接続する機関に対する情報提供等の取組は行われているか	4
	ホームページでの情報提供は行われているか	4
	学校案内・募集要項等の印刷物での情報提供は行われているか	4
	オープンキャンパスでの情報提供は行われているか	4
	生徒募集活動において、資格取得・進学状況等の情報は正確に伝	4

	えられているか	
	生徒納付金は妥当なものとなっているか	4
	オリエンテーションは実施されているか	4
	入学前学習は実施されているか	4

【評価 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切】

#### コメント・課題・改善事項

大阪府及び近隣府県の中学校への情報提供については、学校案内・募集要項・進路実績・入試合格状況など送付している。また、受験する可能性のある生徒については、在籍中学校を訪問して教育方針や指導方針、教育の概要、入試などについて伝えている。但し、教職員数の制約上、網羅する形で中学校を訪問しての情報提供はできていない。

なお、一般的な情報提供としてはホームページ充実による情報提供に取り組んでいる。帰国生受け入れ中高大を定期的取材している外部帰国生団体より、本校ホームページは教育の趣旨や方針、特徴などを詳細かつ的確に掲載していると評価されている。学校案内・募集要項等の紙媒体、オープンキャンパスでの説明により受験・入学までに理解していただけるよう取り組んでいる。また、ホームページ・ブログ欄で教育活動や英検等合格状況の最新情報の掲載に取り組んでいる。ブログ記事も頻繁にアップし、教育への取り組みを公開している。

なお、3月末に実施している新入生オリエンテーションとは別に各入試の合格発表後に合格者オリエンテーションや学習交流会を実施しており、入学前までに事前学習ができるよう工夫している。

#### (10) 財務

	評 価 項 目	評価
財 務	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
	財務・決算書類において会計監査は適正に行われているか	4
	財務状況は適正に公開されているか	4

【評価 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切】

#### コメント・課題・改善事項

学費値上げを抑制しつつ少人数授業を維持することは学校経営にとって決して容易でないが、適正に収支バランスを取ることに取り組んでいる。教育環境を改善するための財源を得ることが課題となっている。将来展望をもって成長できるように中期計画に則った単年度計画の実現及び中長期的な財政基盤安定に努めている。なお、財務諸表はホームページ上に公開している。

#### (11) 法令等の遵守

	評 価 項 目	評価
法令等の 遵守	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
	自己評価結果を公開しているか	4
	学校関係者評価の実施と問題点の改善を行っているか	4



	学校関係者評価を公開しているか	4
--	-----------------	---

【評価 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切】

コメント・課題・改善事項

学校運営や教育活動は、適正な学内手続きを経て実施しており、法令・規程順守には常に留意しており、チェック機能が有効に働いていると評価できる。個人情報保護にも細心の注意を払っている。また、自己評価・学校関係者評価は学校運営や教育活動を振り返り、改善していく良い機会と考えている。

(1 2) 社会貢献・地域貢献

	評 価 項 目	評価
社会貢献 地域貢献	英語教育資源を活用した中学校教員への支援	4
	英語教育資源を活用した中学生への支援	4
	地域に対する公開講座	1
	生徒にボランティア活動を奨励、支援しているか	3

【評価 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切】

コメント・課題・改善事項

本校の教育力（外国人教員による英語教育力）を活用して中学校の英語教育力向上に資するように、毎年、英語教員を対象に英語研修プログラム（Brush Up Lesson）を開講している。また、中学生を対象に英語によるコミュニケーション力向上講座を実施している。但し、現在の教職員体制では、地域住民に対して公開講座を開設する余裕がないが、教職員組織が拡充すれば将来的に公開講座開催も検討していきたい。なお、ボランティア活動についても生徒の希望に応じ個別で対応しているが、現状では生徒全員を対象とした取組みについては課題として残っている。

以上

## 【2018年度学校関係者評価】

学校評価に関する本校規程に従い、2018年9月15日に2017年度の学校運営・教育活動に関する学校関係者評価委員会を実施しました。教職員8名、外部有識者1名及び保護者代表（PTSA 役員）7名の計16名が出席し、「2018年度（平成30年度）自己評価」について検討しました。自由な雰囲気の中で議事が順次進められ貴重な意見が多数出されました。学校関係者評価委員会での議論を以下にまとめ公表させていただきます。

関西インターナショナルハイスクール  
（関西外語専門学校 国際高等課程）  
学校関係者評価委員会委員長

花畑 好一

学校関係者評価委員会 2018年9月15日（土）12:10～14:50 本校214号教室で実施  
出席した学校関係者評価委員 計16名

教職員 8名（校長、国際高等課程長、各学年担任5名、事務局職員）

外部有識者 1名（関西外国語大学元教授、大阪府立高校元英語科教諭・校長）

保護者代表 7名

事前送付資料 1) 『2018年度（平成30年度）自己評価』  
2) 『2015-2017年度【学年末】学校診断（生徒）』（アンケート結果）  
3) 『2015-2017年度【学年末】学校診断（保護者）』（アンケート結果）

委員会の冒頭、学校関係者評価委員会の趣旨説明及び教育目標、教育方針、2017年度の重点的な取組事項についての確認があった。

### 1. 教育理念・目標

「生きた英語力」を身につけて国際舞台で活躍できる「真の国際人」を育成するために次の点に重きをおいて教育を実施している。

- 1) 「生きた英語力」を研くこと
- 2) 国際力を研ぎグローバル社会に通用する人材を育むこと
- 3) 少人数授業を大切にアクティブ・ラーニングを実施すること
- 4) 将来進路に備える基本的な学力・教養教育を大切にすること
- 5) 個性と自由を尊重するとともに規律も重んじること

### 2. 2017年度（平成28年度）の重点的な取組事項

生徒数が過去最多となった2015年度に引き続き2016年度もほぼ同数の生徒数となったが、重点的な取組事項は次の通りである。

- 1) 6レベルによる習熟度別クラス、少人数クラスを堅持
  - 2) 多様な進路に対する受験指導
  - 3) 学年間交流・生徒会活動の促進
  - 4) 模擬国連への取り組み
  - 5) 研修旅行・ホームステイ
3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目や取り組み項目を踏まえて、カリキュラムや教育活動、生徒たちの様子、課題を中心に具体事象も交えて議論した。その結果、各評価項目は概ね適切であることが確認された。なお、議論の中で、生徒・保護者のアンケート結果は概ね良好であるとは言え、「あまり当てはまらない」「まったく当てはまらない」と答えている生徒・保護者もいるため、そのような生徒・保護者にも心を配りつつ、委員会での今回の議論を活かし、自信をもって教育活動に取り組んでほしいとのコメントが外部有識者よりなされた。

委員会で話し合われた主な議論や論点は次の通りであった。

- ・英語教育は、「実際に英語を使うことを目指す外国人教員の授業」と「高校段階での英語力の基礎を築く日本人教員の授業」が互いに補強し合うように構成されている。英語教育をあまり知らない人は、外国人教員の授業時数を増やしさえすれば英語力は向上すると考えるが、英語力の真の向上には日本人教員による文法力強化や読解力強化が不可欠である。KIHSの英語教育は両者を融合させており評価できる。
- ・過去にインターナショナルスクールや海外で学んだことがある生徒は、中学校の英語教育では物足らずにいたが、KIHSでは楽しく学んでいる。一方、英語による授業がかなり多いこともあり、また英語が得意な生徒が多く在籍していることもあってか、英語に対してアレルギーを抱いたり、英語以外の分野に関心を示すようになる生徒もいる。しかし、それも新しい自分を発見するステップと言えるだろう。
- ・KIHSで授業を受ける中で中学校時代と比べると目標値や勉強の目標が変わった生徒がいる。中学校時代は高得点をとるための勉強をしていたが、KIHSでは社会で生きていく上で必要な知識や技能を学んでいる。
- ・上から押さえつけられるタイプの教育に息苦しさを感じていた生徒も KIHSの個性と自由を尊重する教育で伸び伸び学ぶことができている。社会科や国際科目の授業では教科書レベルの事象を現実生活にまで掘り下げる授業が多く、生徒同士で考えや意見を共有し、議論できるため、多様な考え方に触れ互いに刺激し合える。このため、“学ぶこと”が“面白い”につながっていることが確認された。

- ・世界史や日本史など、科目によってはアクティブ・ラーニングが難しい授業科目があることも事実である。しかし、暗記事項の多い科目においても生徒たちに考えさせる工夫をしており、どのようなことができるのか更に検討を要する科目もあることが確認された。
- ・リーダーシップ力を育成する教育を実施してほしいという要望があった。実際、模擬国連など様々な教育の場面でリーダーシップを育成する機会を提供し、リーダーシップの大切な要素であるコミュニケーション力を育む教育を実施しているとは言え、学校としてリーダーシップ力を今まで以上にどのように育むべきかという課題が示された。
- ・思考力を高める教育に取り組んでおり、生徒たちは着実に思考力を伸ばしている具体事例の報告があった。その議論の中で文章作成能力の育成が重要であることが確認された。文章作成能力育成の具体的な取り組みとして2018年度より文章検定を導入することになったという報告がなされた。
- ・アンケート結果によると「安心して登校できる」という生徒の割合が昨年度低くなったが、その原因は学校で発生した盗難事象であり、盗難事象に対する学校の対応について説明がなされた。議論の中で学校の対応が適切であったことが認められた。なお、今年度になってからは発生していないことが報告された。
- ・今年度、地震や豪雨などが多発し、生徒・保護者への連絡のあり方や生徒の安全確認のあり方について話し合いがなされた。災害時の有効性が確認されている Line（ライン）を活用するなど新たな取り組みが必要であることが確認された。

以上、自己評価について議論されたが、自己評価は概ね妥当であることが確認された。

以上

No.	内容		よく	やや	あまり	まったく	わからない
			あてはまる	あてはまる	当てはまらない	当てはまらない	(判断できない)
1	KIHSを志願した際、日本(社会)のグローバル化を意識した。						
		3年	30.0%	65.0%	5.0%	0.0%	0.0%
		2年	25.0%	41.7%	16.7%	0.0%	16.7%
		1年	43.5%	43.5%	13.0%	0.0%	0.0%
		計	32.8%	50.0%	11.6%	0.0%	5.6%
2	KIHSを志願した際、「生きた英語」の必要性を意識した。						
		3年	65.0%	25.0%	10.0%	0.0%	0.0%
		2年	58.3%	41.7%	0.0%	0.0%	0.0%
		1年	73.9%	21.7%	4.3%	0.0%	0.0%
		計	65.7%	29.5%	4.8%	0.0%	0.0%
3	KIHSの方針や教育活動全般について保護者として賛同している。						
		3年	55.0%	40.0%	5.0%	0.0%	0.0%
		2年	41.7%	41.7%	8.3%	8.3%	0.0%
		1年	73.9%	17.4%	8.7%	0.0%	0.0%
		計	56.9%	33.0%	7.3%	2.8%	0.0%
4	KIHSに子どもを入学させてよかったと思う。						
		3年	85.0%	15.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		2年	66.7%	8.3%	8.3%	0.0%	16.7%
		1年	87.0%	4.3%	4.3%	0.0%	4.3%
		計	79.5%	9.2%	4.2%	0.0%	7.0%
5	KIHSの教職員は生徒の気持ちや思いをよく理解してくれるようだ。						
		3年	65.0%	30.0%	5.0%	0.0%	0.0%
		2年	25.0%	50.0%	16.7%	8.3%	0.0%
		1年	56.5%	30.4%	0.0%	4.3%	8.7%
		計	48.8%	36.8%	7.2%	4.2%	2.9%
6	KIHSの教職員は生徒をよく叱咤激励しているようだ。						
		3年	50.0%	35.0%	10.0%	0.0%	5.0%
		2年	16.7%	25.0%	25.0%	8.3%	25.0%
		1年	45.5%	13.6%	9.1%	9.1%	22.7%
		計	37.4%	24.5%	14.7%	5.8%	17.6%
7	KIHSで有意義な高校生活を送っているようだ。						
		3年	40.0%	40.0%	15.0%	0.0%	5.0%
		2年	41.7%	33.3%	16.7%	0.0%	8.3%
		1年	52.2%	39.1%	4.3%	4.3%	0.0%
		計	44.6%	37.5%	12.0%	1.4%	4.4%
8	授業は楽しいようだ。						
		3年	30.0%	55.0%	5.0%	0.0%	10.0%
		2年	50.0%	25.0%	16.7%	0.0%	8.3%
		1年	47.8%	43.5%	4.3%	4.3%	0.0%
		計	42.6%	41.2%	8.7%	1.4%	6.1%
9	有意義な授業が多く、多くのことを学んでいるようだ。						
		3年	40.0%	50.0%	5.0%	0.0%	5.0%
		2年	41.7%	41.7%	8.3%	0.0%	8.3%
		1年	52.2%	26.1%	8.7%	4.3%	8.7%
		計	44.6%	39.3%	7.3%	1.4%	7.3%
10	KIHSに入学してから英語力は向上したようだ。						
		3年	60.0%	30.0%	5.0%	0.0%	5.0%
		2年	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		1年	47.8%	39.1%	0.0%	4.3%	8.7%
		計	52.6%	39.7%	1.7%	1.4%	4.6%
11	外国人の先生の授業では、英語で発言しているようだ。						
		3年	40.0%	45.0%	5.0%	0.0%	10.0%
		2年	66.7%	8.3%	8.3%	0.0%	16.7%
		1年	52.2%	26.1%	0.0%	4.3%	17.4%
		計	52.9%	26.5%	4.4%	1.4%	14.7%
12	授業で分からない点があれば、後で先生に個人的に質問できるようだ。						
		3年	15.0%	60.0%	20.0%	0.0%	5.0%
		2年	33.3%	33.3%	8.3%	0.0%	25.0%
		1年	34.8%	21.7%	13.0%	4.3%	26.1%
		計	27.7%	38.4%	13.8%	1.4%	18.7%
13	この社会や世界のことに興味を持つようになったようだ。						
		3年	30.0%	55.0%	10.0%	0.0%	5.0%
		2年	58.3%	33.3%	0.0%	0.0%	8.3%
		1年	47.8%	30.4%	17.4%	4.3%	0.0%
		計	45.4%	39.6%	9.1%	1.4%	4.4%
14	先生は熱心に授業に取り組み、よく指導してくれているようだ。						
		3年	50.0%	45.0%	0.0%	0.0%	5.0%
		2年	33.3%	33.3%	8.3%	8.3%	16.7%
		1年	43.5%	39.1%	4.3%	0.0%	13.0%
		計	42.3%	39.2%	4.2%	2.8%	11.6%

			よく	やや	あまり	まったく	わからない
			あてはまる	あてはまる	当てはまらない	当てはまらない	(判断できない)
15	先生は、生徒の悩みや思いを受け止め、適切なアドバイスをしてくれる。						
		3年	35.0%	45.0%	15.0%	0.0%	5.0%
		2年	16.7%	50.0%	8.3%	8.3%	16.7%
		1年	47.8%	21.7%	8.7%	0.0%	21.7%
		計	33.2%	38.9%	10.7%	2.8%	14.5%
16	保護者として、担任をはじめとして教職員に相談がしやすい。						
		3年	45.0%	45.0%	5.0%	5.0%	0.0%
		2年	33.3%	41.7%	16.7%	8.3%	0.0%
		1年	56.5%	30.4%	4.3%	4.3%	4.3%
		計	45.0%	39.0%	8.7%	5.9%	1.4%
17	担任は、生徒の個性や資質を踏まえて、適切な指導をしている。						
		3年	35.0%	55.0%	10.0%	0.0%	0.0%
		2年	25.0%	25.0%	8.3%	25.0%	16.7%
		1年	52.2%	13.0%	8.7%	4.3%	21.7%
		計	37.4%	31.0%	9.0%	9.8%	12.8%
18	以前と比べると、子どもの学習意欲が高まり学力が向上している。						
		3年	5.0%	70.0%	20.0%	0.0%	5.0%
		2年	33.3%	50.0%	0.0%	16.7%	0.0%
		1年	39.1%	39.1%	13.0%	8.7%	0.0%
		計	25.8%	53.0%	11.0%	8.5%	1.7%
19	子どもの素質や希望を受け止め、適切な進路指導がなされている。						
		3年	25.0%	65.0%	0.0%	0.0%	10.0%
		2年	16.7%	41.7%	0.0%	16.7%	25.0%
		1年	43.5%	30.4%	8.7%	0.0%	17.4%
		計	28.4%	45.7%	2.9%	5.6%	17.5%
20	卒業生の進路状況や進路実績を評価している。						
		3年	40.0%	45.0%	10.0%	0.0%	5.0%
		2年	33.3%	33.3%	25.0%	0.0%	8.3%
		1年	60.9%	26.1%	8.7%	4.3%	0.0%
		計	44.7%	34.8%	14.6%	1.4%	4.4%
21	学校行事・課外活動は充実していると思う。						
		3年	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%
		2年	8.3%	50.0%	33.3%	8.3%	0.0%
		1年	39.1%	47.8%	8.7%	0.0%	4.3%
		計	24.2%	49.3%	22.3%	2.8%	1.4%
22	学校行事・課外活動を通してさまざまな経験をしているようだ。						
		3年	30.0%	55.0%	10.0%	0.0%	5.0%
		2年	8.3%	50.0%	25.0%	16.7%	0.0%
		1年	39.1%	39.1%	13.0%	4.3%	4.3%
		計	25.8%	48.0%	16.0%	7.0%	3.1%
23	子どもは学校へ行くのが楽しいようだ。						
		3年	35.0%	40.0%	15.0%	5.0%	5.0%
		2年	50.0%	25.0%	16.7%	8.3%	0.0%
		1年	60.9%	30.4%	4.3%	4.3%	0.0%
		計	48.6%	31.8%	12.0%	5.9%	1.7%
24	KHSでは、良い交友関係が築かれているようだ。						
		3年	35.0%	25.0%	30.0%	0.0%	10.0%
		2年	50.0%	16.7%	16.7%	0.0%	16.7%
		1年	69.6%	26.1%	0.0%	4.3%	0.0%
		計	51.5%	22.6%	15.6%	1.4%	8.9%
25	KHSでは、いわゆる「いじめ行為」は見当たらない。						
		3年	25.0%	55.0%	5.0%	5.0%	10.0%
		2年	25.0%	33.3%	16.7%	0.0%	25.0%
		1年	52.2%	26.1%	4.3%	0.0%	17.4%
		計	34.1%	38.1%	8.7%	1.7%	17.5%
26	個人情報やプライバシーが守られ、人権が尊重されている。						
		3年	35.0%	55.0%	5.0%	0.0%	5.0%
		2年	16.7%	58.3%	8.3%	8.3%	8.3%
		1年	60.9%	17.4%	4.3%	0.0%	17.4%
		計	37.5%	43.6%	5.9%	2.8%	10.2%
27	教職員から家庭への事務連絡はきめ細かく行われている。						
		3年	35.0%	65.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		2年	41.7%	33.3%	0.0%	16.7%	8.3%
		1年	56.5%	30.4%	0.0%	4.3%	8.7%
		計	44.4%	42.9%	0.0%	7.0%	5.7%
28	学費・奨学金など、事務局の職員は、適切に対応している。						
		3年	70.0%	25.0%	0.0%	0.0%	5.0%
		2年	75.0%	16.7%	0.0%	8.3%	0.0%
		1年	73.9%	26.1%	0.0%	0.0%	0.0%
		計	73.0%	22.6%	0.0%	2.8%	1.7%